

## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	self-A・しおり黒部
住所	富山県黒部市植木491-1コートハウスK1F
電話番号	0765-55-1616

事業所番号	1610700245
管理者名	廣田 幸代
対象年度	2025年度(令和7年度)

### 地域連携活動の概要

#### <活動内容>

- 活動場所
  - ・入善町 Hotミール
- 実施日程
  - ・平日 11:30~13:30
- 実施した生産活動・施設外就労の概要
  - ・工場内食堂厨房作業
- 利用者数
  - ・3名

#### <目的>

- 地域連携活動のねらい
  - ・地域企業である社員食堂の業務に参加することで、実際の職場環境の中で働く経験を積み、就労に必要な知識や技能の向上を図ることを目的としています。また、地域との連携を通じて、地域の一員として、将来的な一般就労につながる機会づくりをねらいとしています。
- 地域連携活動のメリット
  - ・企業にとっては業務の補助や人手不足の解消につながり、事業所にとっては利用者が実際の職場環境で働く経験を得ることで、職業能力の向上につながります。
- 対象者にとってのメリット
  - ・社員食堂での盛り付け、調理補助、食器洗浄、野菜の下処理などの作業を通して、作業能力や衛生意識を身につけるとともに、企業で働く経験を積むことで一般就労に向けた力を養うことができます。

#### <成果>

- 実施した結果
  - ・社員食堂での盛り付け、調理補助、食器洗浄、清掃等の業務に継続して取り組み、利用者が実際の職場環境の中で働く経験を積むことができました。企業の職員やお客様との関わりを通して、接客や作業に対する意識も高まっています。
- 得られた成果
 

当初は初めての業種に戸惑う様子も見られましたが、現在ではお客様の顔を覚え、注文前にご飯を準備するなど主体的に働く場面が増えました。周囲の状況を見て補充やフォローを行うなど、先を見て行動する力も身に付けてきています。企業からも頼りにされる存在になり、自信を持って接客や作業に取り組む姿が見られます。
- 課題点
 

作業の正確性やスピードをさらに高めるとともに、忙しい時間帯でも安定して作業が行える支援を継続していく必要があります。また、身につけた経験を、将来的な一般就労につなげていくことが課題です。

#### <活動の様子>

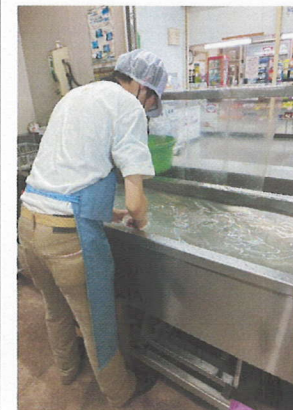
##### 盛り付けの工夫



##### モットーは

：お客様をお待たせしないこと：

##### 段取りよくする工夫



次から次へとシンクに、投入される器を時間内に終わらせるために必死です。感謝の挨拶を声を出して伝えることも忘れません。



手が空いた時は、明日の仕込みをさせてもらっている。計画性を身に付ける訓練が出来ている。

### 連携先の企業や事業所等の意見・感想

#### <成果>

- ①連携した結果に対する評価
 

社員食堂での業務では自分がやるべき役割を把握し、職場の一員として大変活躍されています。接客では丁寧な挨拶を心掛け、お客様の喜びや満足に貢献しております
- ②今後の連携強化に向けた今後の課題
 

忙しい時間帯でも安定して作業が行えるよう経験を積みながら効率性や柔軟性を高め、更なるステップアップを期待しています。引き続き事業所と連携をしながら取り組んで参りたいと思います。

連携先企業名	Hotミール	担当者名	志摩 永司
--------	--------	------	-------